

## 京都精華大学 教育後援会 2021年度 第1回役員会 議事録

開催日時：2021年5月15日（土）11時～12時

開催場所：オンライン

出席役員：

（会長）小村 哲也、（副会長）田中 永美、（会計）谷岡 暢子、（監事）寺田 勝一、  
（以下、学部幹事）柳沢 友美子、坂本 里美、金澤 達則、小林 美智子、井上 孝晴、塩路 有紀

本学参加者：

（学長・教育後援会顧問）ウスビ・サコ、（副学長）吉岡 恵美子、（副学長）蘆田 裕史、（学生部長）  
三河 かおり、（教学グループ長）大羽 勇憲、（学生グループ長）出口 尚宏、（経営企画グループ長）舟  
津 潤、（経営企画グループリーダー）矢澤 愛

記録：（経営企画グループ）若林 麻由佳

議事事項

1. 京都精華大学 概要・2021年度概況
2. 2021年度教育後援会について
3. 2020年度事業報告および決算
4. 2021年度事業計画および予算

今回の決定事項

- ・2021年度の教育後援会の主な活動内容、役員について承認された。
- ・2020年度の事業報告および決算について、事業報告、決算、寄付事業実績報告が承認された。
- ・2021年度の事業計画および予算について、事業計画案、予算案、寄付事業案が承認された。

議事事項

### 1. 京都精華大学 概要・2021年度概況

事務局から、(1)建学の精神、(2)学校法人の沿革、(3)学生数と教職員数について説明があった。

### 2. 2021年度教育後援会について

事務局から、(1)教育後援会の諸活動、(2)教育後援会会則 弔慰取扱細則、(3)役員について説明があった。各議案について、承認された。

以降の議事については、2021年度 教育後援会会長に選出された小村会長により進行された。

### 3. 2020年度事業報告および決算

事務局から、(1)2020年度事業報告、(2)2020年度決算、(3)2020年度寄付事業 実績報告について説明があった。各議案について質問等なく、承認された。

#### 4. 2021 年度事業計画および予算

- (1) 2021 年度事業計画について、事務局から説明があった。
- (2) 2021 年度予算（案）について、予算収入総額および予算支出総額が説明された。予算支出における昨年度からの変更点について、2021 年度から留学生保護者にも教育後援会関係の案内等を郵送することから「各種イベント案内の印刷・発送等経費」の予算が増えていること、保護者向け WEB サイトの整備を行うこと、教育後援会事務局の補助スタッフ人件費が増えたことの説明があった。
- (3) 2021 年度寄付事業（案）について、事務局から説明があった。「④学内環境の整備支援」について、2020 年度第 3 回役員会資料から 1,500 万円増額されている理由については以下のとおり。
  - ・ 2021 年度より留学生保護者からも会費を徴収しており、会費収入が増額したこと
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で会議や地方開催の教育懇談会がオンライン化したことにより、各種イベント運営費・役員会運営費が抑えられたこと
  - ・ 会費繰越金の蓄積があること
  - ・ 今後新しい建物が建つ機会がこの先 4 年間想定されておらず、大規模な寄付事業の機会がないため、昨年度に引き続き建設が進む新明窓館の設備、什器等の充実をご支援いただきたいこと  
続いてサコ学長より、新明窓館のコンセプトと寄付金によって充実する設備等の概要について説明があった。

以上の説明・審議を踏まえ、2021 年度事業計画案および予算案について承認され、次回総会にて審議されることとなった。

小村会長から、全議事の終了が宣告された。その他意見・質問は以下の通り。

- ・ 2020 年度の緊急学修継続奨学金に対する寄付に関連して、2021 年度の同様の奨学金寄付事業の実施予定はあるか、との質問があった。  
事務局から、2020 年度は新型コロナウイルス感染症により全学生を対象に緊急の対応が必要となったが、2021 年度はそうした奨学金事業の実施は予定していないとの回答があった。
- ・ 京都精華大学と地方自治体との就職支援協定を締結してはどうかとの意見があった。
- ・ グローバルスタディーズ学科の収容定員充足率が低いとの指摘があった。
- ・ 関東や東北圏で京都精華大学の知名度が低い、何か広報等の計画はあるか、との質問があった。  
サコ学長から、関東の大学と大学間協定を結んだこと、今後は地方での社会実践プログラムやインターンシップを視野に入れており、そうした活動の中で知名度を上げられたらと考えている、との説明があった。

以上